POWERED MULTIMEDIA SPEAKERS

YST-M40

取扱説明書

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。

安全上のご注意　（安全に正しくお使いいただくために）

● ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

● この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

絵表示	説明
	△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示	内容
	● 本機に水を入れたり、ぬらさないようにご注意ください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続したり、表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	● 風呂場で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となったり、ケガをする恐れがあります。
	● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	● 万一、本機を落としたり、損傷した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

● 移動させる場合は、本機の⏻（電源）スイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

● 電源プラグを接続する前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

● キャビネットをあけたり、分解しないでください。故障の原因になります。修理が必要な場合は、お買い上げ店にご相談ください。

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

● 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

ご使用上の注意

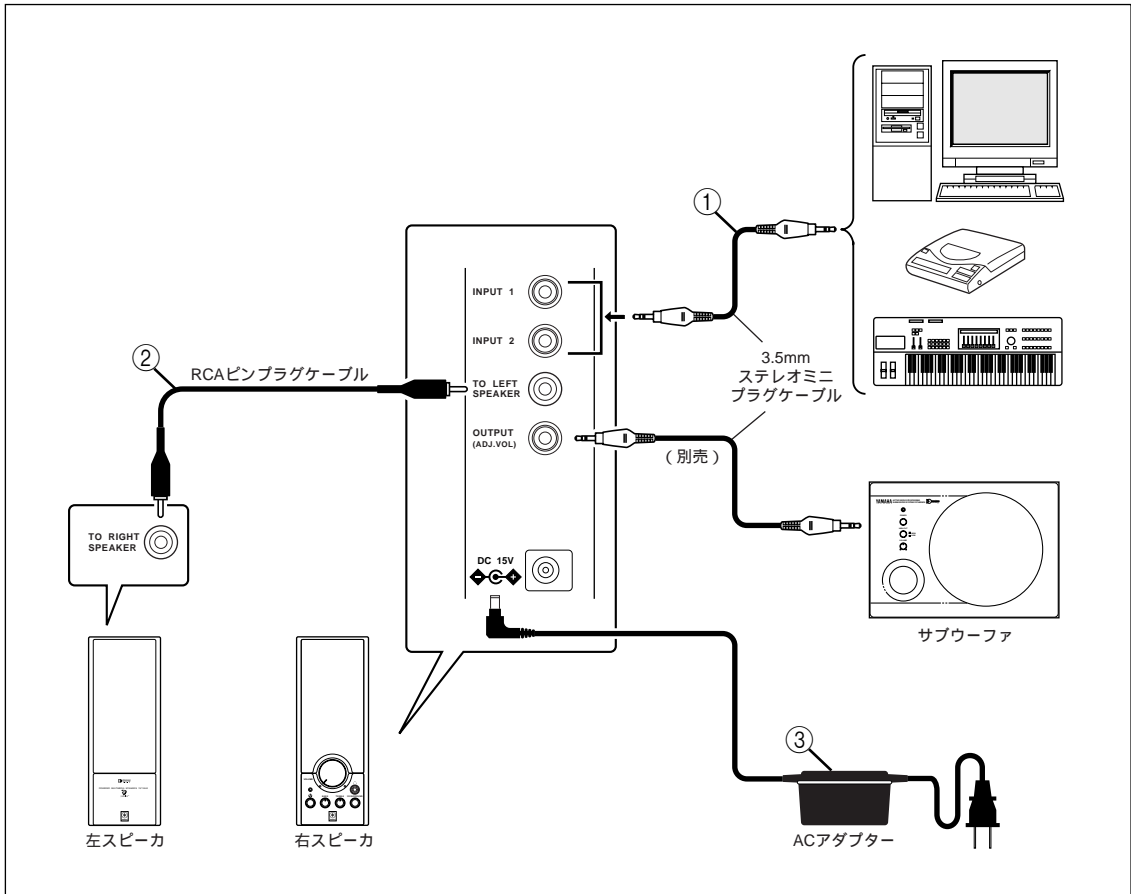
ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

● 本機のつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。
● テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。スピーカの破損の原因となります。
● 本機は防磁設計となっていますがコンピュータのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。
● 故障と思われるときはただちに使用をやめ電源プラグをコンセントから抜いてください。
● フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。
● ⏻（スタンバイ／オン）スイッチがオン（インジケータが点灯）になっているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

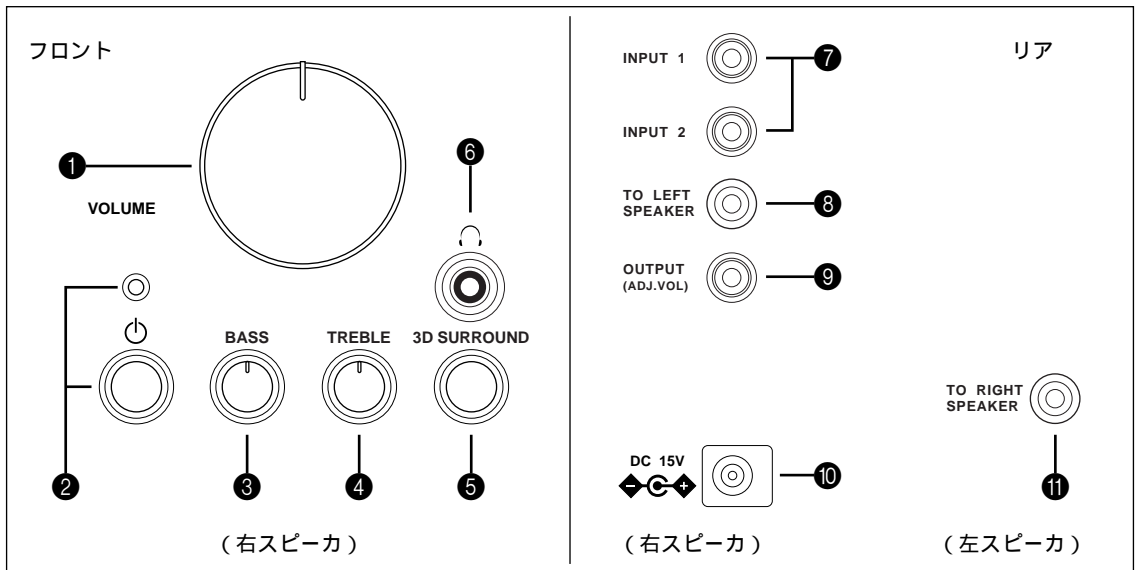
目　次

はじめに

このたびはYAMAHA YST-M40パワードマルチメディアスピーカシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
YST-M40パワードマルチメディアスピーカシステムはアドバンスド・ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジーを駆使し、すぐれたパフォーマンスで、コンパクトながら豊かな低域サウンドを実現します。

パッケージ内容物に損傷がないか確認してください。同梱されていない品目または損傷のある場合は、本機をお買い求めの販売店にご連絡ください。

① 3.5mmステレオミニプラグケーブル×1（付属）
② RCAピンプラグケーブル×1（付属）
③ ACアダプター×1（付属）
※ パッケージには、スピーカ底面貼付用のすべり止めパッド8枚も同梱されています。

注意！ 必ず付属の専用アダプターをご使用ください。他の電源アダプターの使用は本機の故障や火災の原因となります。

コントロール部と端子

❶ **VOLUME（ボリューム）コントロール**
スピーカシステム全体の音量を調整します。
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

❷ **⏻（スタンバイ／オン）スイッチ／インジケータ**
スイッチを押すと電源が入りインジケータが点灯します。
もう一度スイッチを押すとスタンバイ状態になります。
スイッチを押す前にVOLUMEコントロールの音量が小さくなっているか確認してください。
⏻（スタンバイ／オン）スイッチが切ってある場合でも極わずかな電力が消費されています。

❸ **BASS（バス（ベース））コントロール**
低域の音量を調整します。
音量はお好みにより調整できます。
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

❹ **TREBLE（トレブル）コントロール**
高域の音量を調整します。
音量はお好みにより調整できます。
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

❺ **3D SURROUND（スリーディ サラウンド）スイッチ**
3次元的サラウンドを加えてステレオソースを再生します。
スイッチを押すとサラウンド効果がオンになり、もう一度押すとオフになります。
ヘッドフォンでは正常なサラウンド効果は働きません。

❻ **🎧 ヘッドフォン**
ステレオヘッドフォンでモニターするときに接続します。
ヘッドフォンを接続すると、スピーカからは音は出なくなります。

❼ **INPUT（インプット） 1/2**
スピーカシステムへ信号を入力します。
1と2の端子に同時に接続することにより、2系統の信号を入力することができます。たとえば、CD-ROMプレーヤとパソコン本体の出力をそれぞれ入力端子に接続できます。ただし入力されたそれぞれの信号はミックスされます。

❽ **TO（トゥ） LEFT（レフト） SPEAKER（スピーカ）(右スピーカ)**
左スピーカの⓫TO RIGHT SPEAKERジャックとRCAピンプラグケーブルでここに接続します。

❾ **OUTPUT（アウトプット）(ADJ. VOL)**
サブウーファを追加して低域を補強したいときなど、3.5mmステレオミニプラグケーブルでこのジャックと接続します。

❿ **DC（ディーシー）端子**
付属のACアダプターを接続します。通常の電源オン／オフ操作は右スピーカの⏻（スタンバイ／オン）スイッチを使用してください。

⓫ **TO（トゥ） RIGHT（ライト） SPEAKER（スピーカ）(左スピーカ)**
右スピーカの❽TO LEFT SPEAKERジャックとRCAピンプラグケーブルでここに接続します。

YMERSION

ワイマージョン(3D SURROUND)について

ワイマージョンは通常のステレオソース再生時に拡がり感を強調し、2つのスピーカのみで立体的(3D)な音場をつくり上げるヤマハ独自の技術です。聴感上、自然感があり、長時間聴いても疲れにくい特長をもっています。
ワイマージョンは、右スピーカの3D SURROUNDスイッチで効果のオン／オフを切り換えることができます。

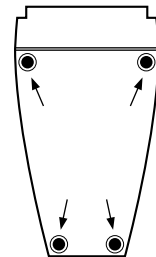
故障かな？と思ったら

本機が正常に機能しない場合は、下記の表に従って問題点をチェックしてください。ここでは一般的な使用上のミスと対策を記載しています。それでも問題が解決しない場合、あるいは表に記載されていない問題が生じた場合は、電源プラグを抜いて、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお問合せの上、サービスをご依頼ください。

問　題	原　因	対　策
スピーカからサウンドが聞こえない。	電源プラグがコンセントにしっかり接続されていない。	電源プラグをコンセントにしっかり接続してください。
	右スピーカの⏻(スタンバイ／オン)スイッチがスタンバイになっている。または電源プラグが抜かれている。	電源プラグをコンセントにしっかり接続し、右スピーカの⏻(スタンバイ／オン)スイッチをオンにしてください。
	音量が最小になっている。	VOLUMEコントロールを右に回して音量を上げてください。
	入力信号レベルが低すぎる。	接続機器の音量を上げてください。
	接続が不良。	接続をもう一度しっかりやり直すか、別の接続ケーブルを使ってください。
サウンドが歪む。	入力信号レベルが高すぎる。	接続機器の音量を下げてください。
ノイズが気になる。	接続が不良または不十分。	接続をもう一度しっかりやり直すか、別の接続ケーブルを使ってください。
3Dサウンドが聞こえない。	再生ソースがモノラルです。	ステレオソースを再生してください。

※ ⏻(スタンバイ／オン)スイッチがオフになっていてもVOLUMEコントロールが最大に設定されていると、ヘッドフォンを通して若干量のサウンドが聞こえることがありますが、故障ではありません。
また、ヘッドフォン接続時はスピーカから音は出ませんが、VOLUMEコントロールが最大に設定されていると、若干量のサウンドがスピーカから聞こえることがありますが、故障ではありません。

すべり止めパッド

図のようにスピーカの底面に付属のすべり止めパッドを取り付けてください。
スピーカがすべりにくくなり安定します。
※安定した平らな面に設置して使用してください。

仕様

タイプ	アドバンスド・ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー方式
出力	12W＋12W（1kHz、4Ω、10%T.H.D）
入力感度	200mV（1kHz、12W/4Ω）
入力インピーダンス	20kΩ
再生周波数帯域	70Hz～20kHz
入力	
右スピーカ	オーディオ信号用3.5mmステレオミニジャック×2 ACアダプター用電源入力ジャック
左スピーカ	右スピーカ接続用RCAピンジャック
出力	RCAピンジャック（左スピーカ用） オーディオ信号出力用3.5mmステレオミニジャック
出力レベル	0.7V/330Ω（200mV）
スピーカユニット	8cmフルレンジコーンタイプ、防磁型
ヘッドフォン出力レベル	0.45V/30Ω（200mV）
定格電源電圧	AC100V、50/60Hz
寸法（幅×高さ×奥行き）	
右スピーカ	95×248×203mm
左スピーカ	95×248×199mm
重量	
スピーカ	1.1kg（右）、0.8kg（左）
付属品	ACアダプター×1 3.5mmステレオミニプラグケーブル（1.8m）×1 RCAピンプラグケーブル（1.8m）×1 すべり止めパッド×8

※仕様は予告なく変更することがあります。

音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● **保証期間**
お買い上げ日より1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**
◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品番、製造番号は本機リアパネルに表示してあります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお薦めします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様ご相談センター
TEL (03) 5488－5500

■ **ヤマハ電気音響製品サービス拠点**
(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512 - 6108
仙　台	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236 - 0249
首都圏	〒211-0025	川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434 - 3100
浜　松	〒435-0048	浜松市上西町911　ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465 - 6711
名古屋	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652 - 2230
大　阪	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 6877 - 5262
広　島	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL (082) 874 - 3787
四　国	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内 TEL (087) 822 - 3045
九　州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472 - 2134

愛情点検

★永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
営　業　部 TEL (053) 460－3451
品質保証室 TEL (053) 460－3405
住所および電話番号は変更になることがあります。

Printed in China　IP　V532440-1